

第 336 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 29 年 11 月 7 日 (火) 11:50～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Midnight Rendez-vous “ミドラン”
[放送日時] 平成 29 年 9 月 26 日(火)25:00～26:00
[出演者] 拝郷メイコ、京太朗と晴彦
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司
委員 山本りさ委員 高木邦子
[会社] 常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部製作担当部長 寺田和史
5. 事務局報告
 - AM 局の FM 補完放送の件
 - AI スピーカーのラジコ対応の件
6. 番組審議
[対象番組] K-mix Midnight Rendez-vous “ミドラン”
[放送日時] 平成 29 年 9 月 26 日(火)25:00～26:00
[出演者] 拝郷メイコ、京太朗と晴彦
[番組内容] 平日深夜、アーティストとアーティスト、そしてあなたとのランデヴー＝接近遭遇。

[聴取・合評での主な意見]

- 山本委員 3 人の仲の良さを感じる。夜中に聴くには良い。クイズ部分の、京太朗の進行が良い。個人的に時々ついていけないが、深夜には良いだろう。
- 高木委員 仲の良さは感じるが、言葉遣いがよろしくない。40 代の大人が使う言葉ではないだろう。仲の良さが内輪だけでの盛り上がりを感じ、距離を感じる。リスナーを意識していないのではないか？

小野委員

沈みがちな深夜、楽しく盛り上げようという意気込みが感じられる。3人のナチュラルハイなプライベートトークを、こっそり聴いているようで、好きな人は好きだろう。コーナーのタイトルコールのエコーが深すぎて、聴き取れなかった。また、アーティストの番組、というコンセプトをきっちり提示するためにも、最初に曲をかけるのも良いのではないか。公共放送としての言葉遣いの乱れは、私もやや気になった。

木宮委員長

アーティスト番組は、通常の番組とは狙いが違う、という意図は理解できる。グダグダで出口のないトークは、アーティストだからこそ許されるクオリティだ。また、60分で3曲というのも少なめで、トーク部分が長く感じる。既存のファンには受け入れられているのが分かるが、ファン層を広げたいという時に、今とどう違うアプローチをするのか、という点が課題であろう。一方、このような軽いタッチが深夜にはフィットするというのであれば、他の曜日のヒントになるのかもしれない。

会社サイド

前回(第335回)ではわたなべのパーソナリティ力に評価を頂く一方、別番組での話し方の切り替えの必要性などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成30年1月16日(火) 16:00~17:15を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信